

介護予防

**問** 町では要介護認定を減らしてできるだけ自力で生活しているか、どの程度浸透しているのか。

**答** 予防に関する例として、プールの運動教室関係は昨年5名が参加している。保健センターで取り組んでいるリハクト等も大きな取り組みの一つ。また、認知症に関しても保健センターや社会福祉協議会で相談事業を行っている。今後は総括ケアシステムという形で提唱しているシステムについて町がどのような形をとれるか保健センターを中心に検討していく。

パークゴルフ場

**問** パークゴルフ場利用者のコースに対する評価や利用状況等について調査された経緯はあるか。利用者の声などへの対応は。

**答** 七ヶ宿観光開発に管理業務を委託しておりそこから報告書を受けている。一部の要望等について、道具や案内板等すぐに対応できるものについては既に対応しているが、コースに関することなどすぐに対応できないものについては今後検討していく。

**問** 今後の新しいコースはいつまでにどれくらいのホールを準備する予定か。

**答** スケジュールは決まっていないが、場所はグラウンドゴルフ場奥の平坦な空き地を予定している。現在18ホールあるので36ホールまでは増やしたい。

監査委員意見書

行政組織の再編は目的とした組織のスリム化と機能性の向上が図られており、新たな体制のもと計画された事務事業について合理的かつ効率的に執行がなされております。スタートして日も浅くメリットが多い半面、わずかではあります問題点も生じておりますことから、事務分掌に対する職員配置等について体制の全体像を描きながら分析、検証も必要であると考えます。

住民からの寄贈によります七ヶ宿町古民家改修工事は、空き家住宅の活用方法及び定住促進に大きな役割を果たす事業であり、町住宅関連情報発信基地として特色ある事業の展開を切望します。

南蔵王エリア活性化基本構想により、町観光の核である長老湖、南蔵王青少年旅行村並びにやまびこ吊り橋等観光地整備の見直しを行い、観光資源の活用を図るとともに停滞ぎみの観光産業の活性化に対応するため、基本構想推進の積極的な取り組みに期待を寄せるものであります。

本町は実質公債費比率4.4%の数字が示すとおり健全な財政運営がなされておりますが、第5次長期総合計画の推進に向け、町民のニーズを的確に把握するとともに町が求められる課題や情報を共有し、過疎対策の現状等将来をしっかりと見据えた財政運営に努められることを提言いたします。

代表監査委員 渡部孝志  
監査委員 小林喜一郎

決算特別委員長審査結果報告書

去る9月7日の本会議において、議員全員をもって構成する決算特別委員会が設置され、平成27年度七ヶ宿町一般会計決算外8特別会計が決算の審査に付託されました。

本委員会は、9月12日から9月15日までの実質3日間にわたり委員会を開催し、執行部からは町長以下副町長、教育長、会計管理者及び各課長並びに参事、課長補佐等の出席を求め、決算の全般的な事項及び内容等について詳細に審査を行いました。

その結果、本委員会は平成27年度一般会計決算外8特別会計決算についてはいずれも妥当なものと認め、全員一致で認定することに決定いたしました。

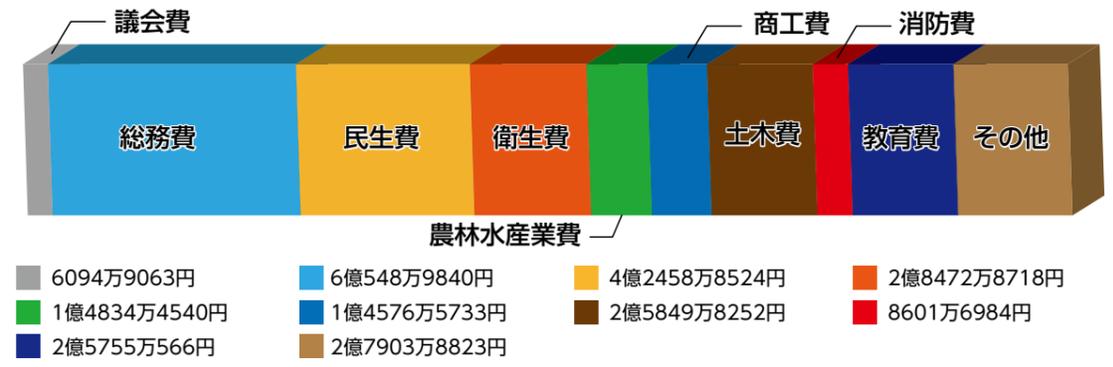
なお、町税等の滞納については昨年度より若干ではあるものの減少しておりますが、今後も情報を共有し職員一丸となって滞納整理に当たっていただきたい。

また、七ヶ宿小学校太陽光発電施設は、補助金を活用して設置されたが、寿命年数が短い設備が含まれており、将来にわたり多額の経費が必要になってくると思われるので、適切な維持管理に努め有効に活用していただきたい。その他の施設に設置された備品についても適切な管理のもと有効に活用していただきたい。

以上、委員長の報告といたします。

決算特別委員長 武藏重幸

平成27年度に町が使ったお金の内訳（一般会計）



平成27年度に町が使ったお金の内訳（特別会計）

